



北小ものがたり



R6.1.24 校長 坂本公彦

～大谷選手からのプレゼント～ 野球しようぜ！

3学期の始業式で、MLB ドジャースの大谷翔平選手から寄贈された「野球用グローブ」3個が全校児童に披露されました。（サンニチ新聞でも紹介されています）

サイズの違う右利き用2個と左利き用1個で、多くの児童が利用できるようにという大谷選手の配慮が感じられます。また、「野球しようぜ」というメッセージカードが添えられていて、大谷選手のグローブに込めた想いも伝わってきます。

グローブは1週間、児童玄関前に展示され、児童が自由に手に取って触り、手にはめてみてその感触を楽しんでいました。その後、使用する場所などのルールがきまり、早速休み時間に校庭でキャッチボールをする姿がみられました。これまでは休み時間にキャッチボールをする事はなかったことを考えると、大谷選手の影響の大きさを感じます。これをきっかけに、野球やスポーツに興味を持つ児童が多くなることを願っています。



～1年生昔遊び集会～ みんなで遊ぶから面白い！

1年生が14名の保護者の方や地域の方を講師にお招きし「昔遊び集会」を行いました。「羽根つき・あやとり・お手玉・コマ回し・めんこ・おはじき」の中から、それぞれ思い思い選んで楽しそうに遊んでいました。どれも一人で遊ぶより複数で遊ぶことの楽しさを味わえるもので、子ども達は昔の遊びの良さを体験することができたと思います。ご協力いただいた保護者・地域の皆様、本当にありがとうございました。



～たて割りレク活動～ 記念写真とレク

今年度最後の「たて割り活動（異学年交流活動）」がありました。たて割り活動は上級生が下級生と一緒に遊んだり活動したりすることをおして、社会性を身に付けお互いを思いやる心や自己有用感を高めていくことをねらいとしています。

今回は班ごとに記念写真を撮った後、たて割りレクを行い、みんな楽しそうに遊びまわっていました。3月には6年生が北小から巣立っていきます。現6年生と交流できるのも残りわずかです。毎日を大切に過ごして欲しいと思います。



～4・5年生 邦楽教室～ 和楽器に興味津々

県芸術文化協会の事業として「尺八」の講師1名と「琴」の講師3名の先生方をお招きし、4・5年生の「邦楽教室」の授業がありました。講師の先生方の説明の後、児童が実際に和楽器に触れたり音を出したりして、普段は経験できない体験をすることができました。最後は、講師の先生方による演奏があり、子ども達は和楽器のやさしい音色に魅了されていました。

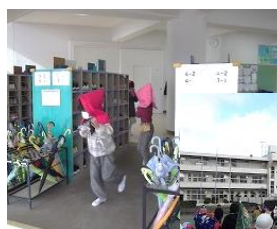


～避難訓練～ 命を守る訓練

1月の能登半島地震をはじめ、様々な自然災害やそれに伴う大規模火災はいつ起こるかわからず、学校の日ごろの訓練や備えの大切さを強く感じます。北小では1月23日に、火災の発生を想定した避難訓練を全校で実施しました。まずは、火災時に「防火扉」が閉まっても必要に応じて通用口を使えるよう、「防火扉」の通り抜け方を実際に体験し、その後、全校児童が校庭に避難する訓練を行いました。

防災教育のねらいは「災害時の危険を認識し日常的な備えを行うこと」と「自ら安全を確保するための行動ができる」ことにあります。

今後も北小児童が「自らの命を守る行動」を身に付けるよう、様々な機会を捉えて防災教育に取り組んでいきたいと思っています。



***御礼** 児童会による助け合い活動「ベルマーク・書き損じはがき・古切手の回収」および「能登半島地震への募金活動」へのご協力ありがとうございます（1/26まで）。募金については山梨県児生連（児童会生徒会の連合会）でまとめられ、日本赤十字社を通じて被災地に送られます。

今回の地震でお亡くなりになった方のご冥福をお祈りし、被災された地域の皆様にお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を願っております。